

事故周知・再発防止〔令和6年度発生事例〕

災害の種類	労働災害	工事区分	雑工事
事故内容	切傷	被災者性別・年齢	
被災状況	消毒、絆創膏	職業	

[災害の概要]

現場の状況 :

不要材処分(長尺軽量材)の為、作業員として電動工具(グラインダー)を使用し切断作業をしていた。

事故の概要 : (令和6年1月23日 火曜日)

東、西側(SSD4)の大扉の前(土間上)で作業をしていた。
作業中、下向きに強く力を入れた際に材料がたわんだため、刃の接触面の抵抗が増し、その反動で上に跳ねてしまった。その際手を離してしまい、工具が回転しながら降下し右膝上部に当たり被災した。

安全対策の有無 グローブ、保護メガネ、防塵マスクの着用

安定した場所で、切断する材料の固定は実施していた。

問題題点 : ①作業手順と注意事項に対する作業者の認識が不足していた。

- ・刃と材料の接触面が大きくなりすぎないよう、隨時に材料を回転させる必要があるが、回転させていなかった。
- ・材料に強い力が加わり、切断時にたわみが発生

- ②不慣れな職員が行う作業に対する指導が不足していた。

防止対策 : ①電動工具の作業手順書を作成し、普段作業していない職員が使用する前に確認する。

- ②不慣れな職員が作業する場合には、指導監督を徹底する。

事故周知・再発防止〔令和6年度発生事例〕

災害の種類	労働災害	工事区分	雑工事
事故内容	切傷	性別・年齢	
被災状況	消毒、絆創膏	職業	

〔事故の状況が分かる写真または図面〕

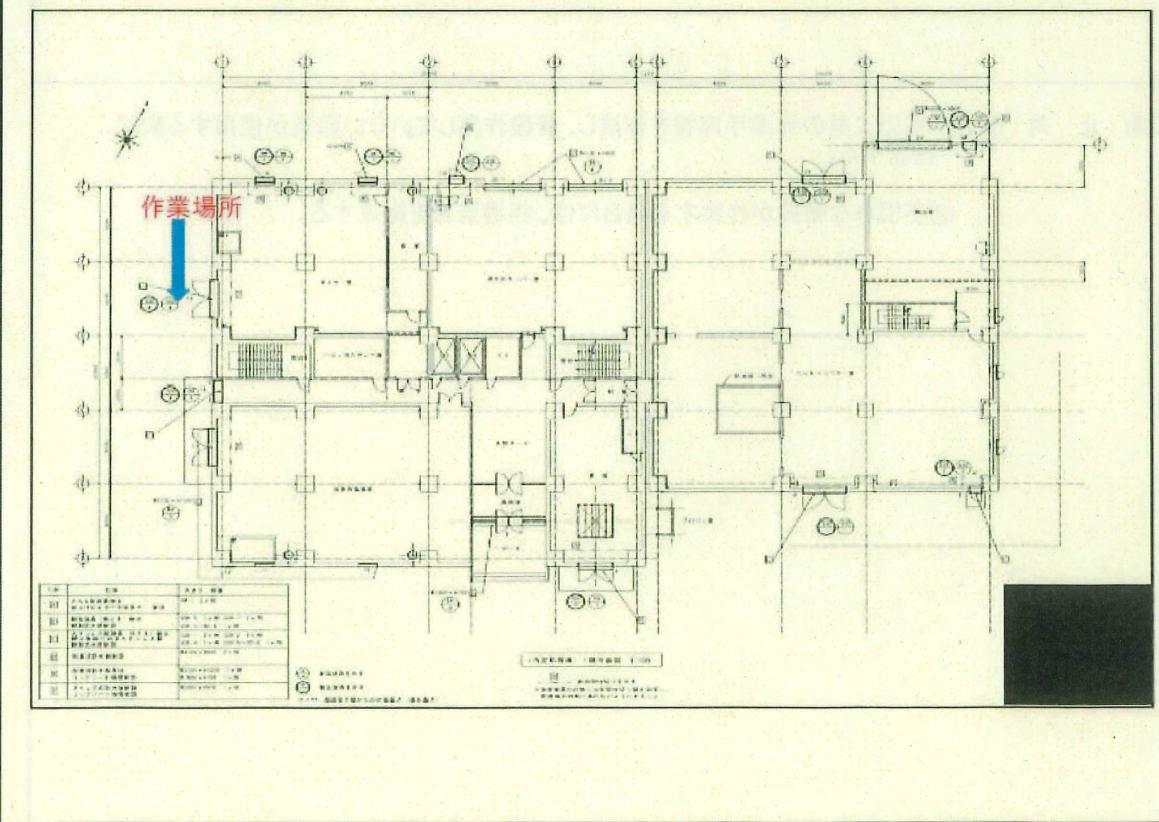
【写真】



負荷がかかり上に跳ねてしまい
本体ごと回転しながら落下した

落下箇所

【平面図】



[対応策]
作業手順書
の作成

電動工具(グラインダー) 作業手順書

△	令和6年1月25日
△	平成 年 月 日
△	平成 年 月 日

工事名	作業員名	作業責任者	作業実績			作成日
			前	現	判	
施工会社一 次						△△地盤整備
施工会社二 次						△△地盤整備
施工会社三 次						△△地盤整備
作業者名						△△地盤整備
作業員氏名						△△地盤整備
危険物質とその主な手順	危険物質要因(手冊記載の要因・事由)	危険物質要因(手冊記載の要因・事由)	危険物質要因(手冊記載の要因・事由)	危険物質要因(手冊記載の要因・事由)	危険物質要因(手冊記載の要因・事由)	危険物質要因(手冊記載の要因・事由)
作業工具 No.	①電動工具実施 ②作業者による施工工具の 引取物に上部穴あき 引取上端子を広げたまえ	3 3 9 C 電気器具の電線を所持する 可燃性の燃焼量が発生する工具の実施をする				
操作員	③工具をスベッカの電源 引取上端子を広げたまえ	1 3 3 D コンセントに接続する工具の上部穴あき 池液不負に止めて電源 工具部に接続電源をする				
操作員	④工具をスベッカの電源 引取上端子を広げたまえ	3 3 9 C 保護装置を付けて工具にする 切削中、材料が動きを失うたる 工具を部屋を離れて固定する				
操作員	⑤工具をスベッカの電源 引取上端子を広げたまえ	3 3 9 C 仕事台に当たり突きが発生させたる 火にやけ物が頭に飛散したる 加熱された際、軽が引かれて引火したる				
操作員	⑥工具をスベッカの電源 引取上端子を広げたまえ	1 3 3 D 使用した際の上部穴あき 火にやけ物が頭に飛散したる 工具部に接続電源をする				
操作員	⑦工具をスベッカの電源 引取上端子を広げたまえ	1 3 3 D 作業手順が必ずOJTにて 実施された際の上部穴あき 工具部に接続電源をする				
操作員	⑧工具をスベッカの電源 引取上端子を広げたまえ					
基準に基づいた危険性又は有害性の評価と整理						
基準に基づいた危険性又は有害性の評価と整理						
参考表						